



	された伝統的建造物が多数存在しており、近年の近代産業遺産への注目度の向上とともに集客の的になっている。	
⑥対象地象地周辺の一般的なイメージ	直方市における中心市街地	
⑦その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)	<p>現在、遠賀川河川敷を活用した自転車道整備（福岡県事業）が進められており、供用開始後は飯塚市、北九州市、宗像方面を結ぶサイクリングによる広域的なアクセスが生まれることとなる。</p> <p>これを機会とし、自転車による来訪者の増加と滞在型観光の推進が期待できる。</p>	
<b>5. 対象施設の概要</b>		
<b>5-1. 建物</b>	<b>既存</b>	<b>整備後(予定)</b>
①施設名称	旧篠原邸	仮称) 観光交流センター
②施設の延床面積	約513㎡	—
③建物の構成(構造、階数)	木造2階建(主屋棟) 1棟 木造平屋建(便所・渡り廊下棟) 1棟 木造平屋建(奥座敷棟) 1棟	
④主な施設の内容、導入機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民と来訪者との観光交流機能</li> <li>・住民のコミュニティ機能</li> </ul>
⑤運営状況 (運営主体、事業手法等)	直方市	民間事業者
⑥その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)	築100年を超える旧篠原邸は、かつて旅館を営んでいた建物であり、大正期の筑豊を代表する町家建築である。平成29年9月までは、近接する直方市谷尾美術館の収蔵庫として利用していた。	直方市に残存する貴重な町家建築であり、文化財としての保存活用を目指す。
<b>5-2. インフラ系 (上下水道、道路等)</b>	<b>既存</b>	<b>整備後(予定)</b>
①施設名称		
②規模、能力等		
③運営状況 (運営主体、事業手法等)		
④その他		

(上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等)		
<b>6. 事業環境</b>		
①人口、高齢化率	人口：56,916 人 (H28 年度末) 高齢化率：31.94% (H28 年度末)	
②対象地周辺の人口構成	年代別人口構成 年少(15 歳未満)：7,544 人 生産(65 歳未満)：31,192 人 老年(65 歳以上)：18,180 人	
③市民意見等	特になし	
<b>7. 事業関連</b>		
①現状及び課題	現状 ・現在、施設の活用は行われていない 課題 ・施設老朽化のため、改修及び耐震施工の実施が必要	
②目的、考え方・基本方針	平成 27 年 3 月に策定した直方市まちなか再整備計画に基づく	
③前提条件	特になし	
④事業スケジュール(案)	平成 30 年度 改修及び耐震施工の実施 平成 31 年度 民間事業者募集、決定 平成 31 年度 民間事業者による施設活用の開始	
<b>8. 対話内容</b> ※意見・提案を求める内容 をご記入ください。	実現可能な事業案 事業実施のために必要な機能等 事業スキーム 事業実施を検討する際に必要な情報、資料 本事業への関心の有無とその理由 ほか	
<b>9. 対話を希望する業種</b> ※該当する番号に○(複数可) 注)希望する業種の事業者の参加 を確約するものではありません。	1.設計 2.建設 3.ビル管理 4.金融 5.保険 6.不動産 ⑦.運営 8.その他 ( )	

■ 添付資料

なし